

製品名: DGCR8 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01908**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 86 kDa; Observed MW: 120 kDa

抗原情報

遺伝子名	DGCR8
別名	DGCR8; DGCRK6; Gy1; C22orf12; D16Wis2; pasha
遺伝子 ID	54487
SwissProt ID	Q8WYQ5
免疫原	ヒト DGCR8 の組み換えタンパク質

背景

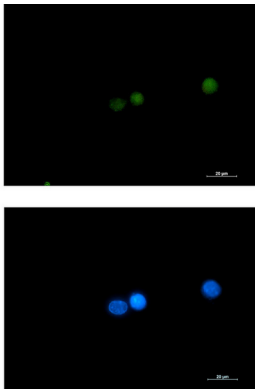
マイクロプロセッサ複合体の構成要素であり、一次 miRNA 転写産物 (pri-miRNA) を処理して核内で前駆体 miRNA (pre-miRNA)

を放出するために必要なものです。マイクロプロセッサ複体内で、DGCR8はdsRNA-ssRNA接合部におけるpri-miRNAの認識に必要な分子アンカーとして機能し、DROSHAに接合部から11bp離れた部位を切断するよう指示してヘアピン型のpre-miRNAを放出させます。その後、pre-miRNAは細胞質DICERによって切断され、成熟miRNAが生成されます。

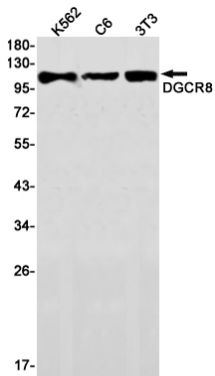
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



DGCR8抗体とDAPI(青)を使用したK562のDGCR8(緑)の免疫細胞化学分析。



DGCR8抗体を使用したK562、C6、3T3溶解物中のDGCR8のウエスタンブロット分析